

かみりゅう

第 3 号

上龍門地域まちづくり協議会の広報紙『かみりゅう』の第3号をお届けします。

今回の内容は、「上龍門地域まちづくり協議会平成28年度通常総会」と上龍門地域まち協の地域振興部会が中心となって開催した「上龍門地域探訪」並びに「上龍門こども大集合」の話題です。

上龍門地域まち協

『平成28年度通常総会』

開催

4月24日(日)午後7時から、上龍門地域まちづくり協議会の平成28年度通常総会が田原集会所ホールで開催されました。

萬世会長のあいさつの後、協議会規約に基づく総会の成立確認が行われ、代議員55名中、出席者37名、委任出席9名、代理出席1名で総会の成立が確認されました。

続いて、出席者の中から牧の宮奥昭男さんが議長に選出され、平成27年度の活動報告並びに収支決算報告と監査報告、協議会規約の一部改正とそれに伴う代議員名簿・役員名簿・部会別名簿の一部変更、平成28年度事業計画(案)と収支予算(案)が審議されました。

8件の議案はすべて異議なく、賛成多数で承認または議決され午後7時38分に閉会しました。

また、総会閉会后に「防犯・防災」「人権・福祉・環境」「地域振興」の3つの部会が開催され、それぞれ部会の役員が選

任されました。

本年度の役員を、敬称を略し、順不同でご紹介します。(※印のついてる方が、連合自治会の役員交代や単位自治会の自治会長交代で新任となられた方です。)

- 会 長 萬世晴康(栗野)
- ※副会長 宮奥昭男(牧) 上龍西連合自治会
- ※ 上西善作(大熊) 上龍東連合自治会
- ※理 事 南 勉(栗野)
- ※ 森田憲司(田原)
- ※ 高尾 晃(上片岡)
- ※ 森口誠明(下片岡)
- ※ 松本孝行(東平尾)
- 事務局長 東 勲(栗野)

次に、紙面の都合で各部会の部会長のみのみ、これも敬称を略してご紹介します。

- 『防犯・防災部会』
部会長 尾上力三(東平尾)
- 『人権・福祉・環境部会』
部会長 中西基高(上片岡)
- 『地域振興部会』
部会長 梶岡俊之(下片岡)

平成28年度も、上龍門地域まちづくり協議会の活動に、一層のご協力とご支援をお願いします。



『上龍門地域探訪』

を開催しました

6月11日(土)、地域振興部会の主催で『第1回上龍門

地域探訪』が開催されました。初めての試みにも関わらず36名という大勢の方にご参加いただき、下片岡地域を散策しました。

大勢の方に参加いただきましたので、全員が一同となって散策するのは危険なため、全員を「真光寺」から出発する班と「春日神社」を出発する班の2つに分けて散策を開始しました。私は、「春日神社出発班」でしたので、その班のコースに基づいてお話しさせていただきます。

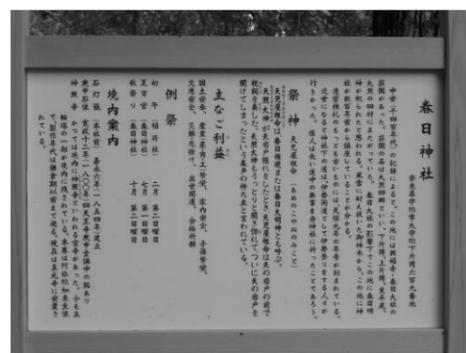
まず春日神社に向かいました。神社では、大正10年に「神木の幹周りを測った記録があり、そこから現在の幹周りの差から割り出した推定樹齢は400年〜500年。などが梶岡地域振興部長から説明がありました。

次に、真光寺を訪問しました。住職の赤松氏から「真光寺」は西暦1714年の創建と伝わっているそうで、現在の本堂は昭和27年に建てられたものだそうです。また、春日神社の境内にあった『神照寺』の宝物も管理されており、その宝物の「釈迦涅槃図」などについてもお話しいただきました。最後には「数珠繰り」体験もさせていただき参加者一同、大変盛り上がりました。

本堂前には大きな桜の木があり、そこから高見山まで望む景色は本当に素晴らしかったです。



最後に畑久保古墳に向かいました。こちらの古墳は6世紀後半の円墳で、直径は約20メートルの横穴式石室となっています。この地域としては大きな古墳だそうです。四郷川流域を治めた有力者の墓と考えられるそうです。皆さん、このよう



な古墳が身近にあったこと、ご存じでしたか？

参加された皆さんからいただいたアンケートのご意見も、『地域の歴史を再認識するよい機会だった』『地元知らなかった所を知ることができてよかった』『自分たちの地域の良さがわかった』など、好評でした。

普段、何気なく見ている日常の景色の中に、地域の歴史を感じることでできる宝物がまだまだあります。また次回、別の地域で探訪を実施しますので、更に大勢の方のご参加をお待ちしております。地域の宝物を知り、地域の活性化に役立てていきますか。



『上龍門』子ども大集合』

開催

夏休みもおおよそ4分の1が過ぎた8月6日、旧田原小学校区の子ども会のご協力を頂いて『上龍門』子ども大集合』を開催しました。



この催しは、子どもたちが「地域」と「地域の人たち」に触れることにより、自分が生まれ育っている「上龍門地域」に愛着を感じてもらい、地域と地域に息づく文化を大切にすることを、はぐくんでもらうことを目的として開催されまし

た。

当日は、集合場所の田原集会所に、14人のこども達と5人の保護者が集まってくれました。

まず、重要文化財「片岡家住宅」に向かい、萬世まちづくり協議会会長のご挨拶、ご当主の片岡彦左衛門さんから少し前の生活に関する説明を受け、まち協の地域振興部会長から今日一日の日程説明を受けました。



その内容は、①お米を研いで、『かまど』でご飯を炊く。②ご飯を炊くための薪を割る。③午後のわら縄作りのための「わら打ち」をする。これが午前中の作業です。



お米を研いでご飯を炊くのは5・6年生。片岡さんの奥さんの指導を受けて、地域で栽培されたお米二升を研いで羽釜に入れ、水を入れてかまどでご飯を炊きました。炊き始めは火が付きにくく、煙には少し難儀しました。

薪割りは3・4年生の仕事。これは危険が伴うため、大人に少し手伝ってもらい、割った薪はみんなでかまどの脇へ運びました。

2年生以下のこども達は、片岡さん宅の土間にあるわら打ち石でわら打ちをします。このわら打ちは、午後のわら縄作りのためですので、3年生以上の手の空いたこども達も行いました。

保護者の方々は何をしていたでしょうか？ 保護者の方たちは、片岡彦左衛門さんから当時の家の歴史や当時の道具についての説明に聞き入っていました。



炊きあがったご飯は、おひつに入れて田原集会所へ。そこ

で各々が「おにぎり」を作ったの昼食をとりました。電気やガスで炊いた、いつも食べているご飯とは一味違うのにみんなびっくり。

思いがけず、小林博文さんからの取りたてを湯がいたトウモロコシの差し入れや、福田さんからは大きなトマトを頂きました。大きく甘いトウモロコシにみんな大喜びでした。

午後はわら縄作りの体験。子ども達、最初はコツがわからず四苦八苦。でも地域の方の親切な指導で、イベントの終わり頃には数メートルの大縄を作る子も現れました。

ご協力を頂いた片岡さん、差し入れをいただいた小林さん、福田さんに、紙面をお借りして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



◇今後の事業予定

11月20日(日) 防災訓練

【対象：上龍門地域住民全員】

11月26日(土) 先進地視察研修

【対象：まち協代議員及び事務局員】

広報紙『かみりゅう』に関する連絡先

上龍門地域まちづくり協議会 地域振興部会

電話 090-89937-6713 まで

(文責 Y・T)